

## ICCF20 同伴者ツアー 仙台市内観光案内 (2016.10.4.)

初秋の晴れた日の午後、凝縮系核科学に関する国際会議の同伴者プログラム第一弾として仙台城跡と大崎八幡宮を巡る仙台市内の観光が催されました。会議から6名が参加、ジャンボタクシーを利用して仙台の歴史と景色を堪能されました。案内は、仙台ボランティア英語ガイド GOZAIN の佐藤と菅井が担当しました。

仙台城跡では、会議ポスターの表紙を飾る伊達政宗騎馬像にて記念撮影、市内を一望した後、資料展示館にて仙台城復元 CG ビデオを鑑賞しました。15分で政宗の一生を多少ご理解いただけたようです。

大崎八幡宮に移動し、先ず手水舎で心身を浄め、長床、参拝、社殿、神輿、しめ縄、奉納された菰酒などを鑑賞した。参拝に鳴らす鈴の綱が三色で編まれておりその色の意味は？社殿正面の破風に踊る二羽の鳥は？それが足を上に向け頭を下に向けているのはなぜ？などの鋭い問いかけあり。社務所の方にご教示いただきました。ガイドも大いに勉強になった半日でした。



会議ポスターの表紙を飾る騎馬像にて、記念撮影。  
伊達武将隊の伊達茂実と松尾芭蕉も参戦。



北側駐車場からの入口にある手水舎にて清める。菅井さんが先ず御手本を示し、それに倣って皆さん真剣です。



説明の前に、社殿にて参拝しました。菅井さんのお手本に倣って、二礼、二拍手、祈願、一礼。



社殿左側側面にて、現存する日本最古の本格的な大規模桃山建築・石の間造りの説明を聞く皆さん。



綱の色の意味するところ、破風の鳥の種類、下を見下ろしている訳などの鋭い質問が飛び交う。



社殿前の広場にて、記念撮影。  
武将隊から教わった「ずんだもち」を唱和。